

緊急・重要

令和2(2020)年4月3日(金)

学生各位

**いわゆる『新型コロナウイルス』に関する対応について
～4月「課題対応(全講義・演習等の代替)」「特別編成」に関して～**

学校法人 北陸学園
北陸食育フードカレッジ
北陸福祉保育専門学院
(公 印 省 略)

件名について、令和2年4月2日16時時点で新潟県内・長岡市内での感染は関係各位のご努力により拡大が防止されております。

しかしながら、他の都道府県並びに海外の現状を踏まえ、予断を許さない状況の中、件名に関しまして本学園両専修学校では下記の対応を取ることを判断しました。

苦渋の判断ではございますが、「人命第一」を原則に下記立案致しましたので、学生各位課題に取り組んで下さい。

記

【学校法人北陸学園 両専修学校における令和2年度4月の対応について】

1：令和2年度4月においては「全講義・演習等は開講をせず」、代替として『課題対応』『特別編成』による学習対応とする。

2：『課題対応』は、4月開講予定の講義・演習等のシラバスにそって、各学生在宅での学習とする。

3：『特別編成』は、2の進捗確認・質疑応答、その他学習相談・進路相談等の機会確保を優先し「学生が、原則週1～2回の担当教員との「面談」をすること」を基本とする。

4：人命第一・感染拡大防止の観点から「登下校時間の変更」「時短」「一日の館内入館者制限」により対応する。

5：5月以降については、4月20日(月)に関係各位に連絡を予定とする。

【次頁→】

【→前頁つづき】

【学校法人北陸学園 両専修学校における令和2年度4月の対応について】の説明

1：本決定の社会的背景

- (1) 令和2年3月30日16時時点で新潟県内・長岡市内での感染は関係各位のご努力により拡大が抑制・防止されている。
- (2) しかしながら、全国的に俯瞰して見るに大都市圏を中心に感染拡大傾向が見られる中、「ここ数日の行動変容が重要な局面」であることが各方面から情報発信されている。
- (3) 現時点においては「可能な限りの所謂『3つの『密』』を回避すること」が望ましい。
- (4) 全国から、学生・講師・関係各位をお迎えして新学期を迎えるタイミングは地域では小中高等学校等も併せて「一斉開始」となることが想定される中、何とか『3つの『密』』を回避することが「今後の感染拡大防止」に対して重要である。
- (5) これらをもって、『学生・保護者・講師・関係各位・地域の安全安心・人命第一を優先し、寄与する』ことこそが、現時点における本学園並びに両専門学校の使命・役割と考える。

2：『課題対応』と『特別編成』に関する決定背景

- (1) 自宅学習による『課題対応』は、現下においてその有効性・優位性は十分期待される。
- (2) (1)を円滑に進めていく上で、今後双方向での「オンライン講義」等の検討が必要となるが、学生のオンライン環境の確認・具体的ツールの選定には一定時間を要する。
- (3) 『課題対応』については、現下における対応としては一番望ましいが、その長期化による、極度の生活制限からの心理的負担が懸念される。
- (4) (3)の解決策として『3つの『密』』に対応しながら、学習効果の向上に加え何より学生の心理的負担のサポート、国家試験対策確保に『特別編成が効果的』と判断した。
- (5) 『特別編成』は、
 - ① 「登下校時間の変更」・・・公共交通機関の混雑緩和
 - ② 「時短」・・・・・・・・・・必要最低限の接点確保に寄与
 - ③ 「一日の館内入館者制限」・・・密度の高い接点の回避に寄与の面で、現実的と判断される。
- (6) 以上のことから『特別編成』により当該4月のシラバスを元に、「課題対応」とすることで、履修認定するものとした。

以上

学校法人北陸学園
教務本部・教務部